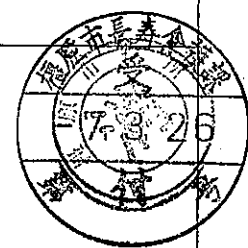
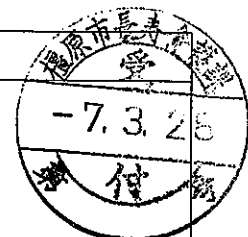


あすならホーム畝傍 介護・医療連携推進会議議事録

開催日時	2025年3月21日(金) 10:00~12:00														
運営推進会議メンバー (参加者)	1. 利用者、家族:1名 2. 地域代表:3名(民生委員会長)、(まちかどネット畝傍 2名) 3. 市・包括職員:1名(橿原市地域包括支援センター 南エリア) 4. 職員:5名														
利用者登録状況 (3月10日現在)	1. グループホーム:15名 2. 小規模多機能型居宅介護:29名 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護:59名 4. 訪問看護:24名 5. ケアプランセンター:91名(要介護) ＜定期巡回・随時対応型訪問介護看護 利用者の介護度(請求ベース)＞ <table><tr><td></td><td>要介護1</td><td>要介護2</td><td>要介護3</td><td>要介護4</td><td>要介護5</td><td>合計</td></tr><tr><td>3月</td><td>24</td><td>13</td><td>11</td><td>9</td><td>4</td><td>61</td></tr></table> ※平均介護度は 2.3 の状況です		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	3月	24	13	11	9	4	61
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計									
3月	24	13	11	9	4	61									
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について <u>サロン活動</u> (1) ランチ企画 月6回(0と5のつく日)実施。 ①目的…家での閉じこもり生活を開放し、社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善に寄与する。 ②運営 1) 新型コロナウイルス感染防止に留意。2) 自宅での閉塞感の解消と健康づくりのため、リハビリ体操と口腔体操に取り組む。 3) 暮らしの知恵を学び、生活に役立てるため、毎月テーマ「ヒートショック予防」などを決め、学習や情報提供に取り組む。 ③現状…毎回、17名前後の地域の方が参加。 <u>つながり連絡員制度</u> ・安心を届けるため、サロン活動へのお誘い、安否確認(脱水・熱中症、自然災害) <u>学習会・その他</u> (1) 春と秋の「あすなら学習会」を春3回、秋4回実施。お役立ち情報の学習、あすならホーム畝傍の喜ばれた事例紹介、ならコープの商品紹介、意見交流。 ・春の学習会日程 4月25日(金)、5月17日(土)、6月18日(水)、6月30日(月) (2) 福祉講演会(法人)…毎年、年2回開催。 (3) 福祉学習会(法人)…年4回程度、テーマを設定し県内各地で開催。 (4) 買い物支援…買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラックが週1回(土曜日)、「移動店舗」が巡回。 (5) ユニバーサル就労…精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。2月から、新規の就労者を受け入れる予定。														



3. 榎原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み

- (1) 当会は、地域包括ケアシステム構築のため、榎原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、榎原市民に貢献し、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指す。2021年12月17日発足。主な活動…事業者間の学習、交流。年4回程度。
- (2) 2024年8月30日学習会開催。テーマ「認知症の人の意思決定支援、ACP」（講師：加納麻子医師＜社会医療法人平和会吉田病院＞）。参加23名。
- (3) 2025年1月28日10:00～12:00講演会。テーマ「認知症のある方が住み慣れた街で安心して暮らせるために備えたい理解」（講師：大石 智（北里大学医学部精神科学 講師）。参加80名。

4. 感染症予防：

＜法人では、11月～3月を「感染症予防月間」と位置づけ、取り組みを強化＞

(1) 新型コロナウイルス対策＜with コロナ＞

①現状 この2カ月発生なし

②予防 1) 利用者…定期的なワクチン接種 11月5日

2) 職員…ワクチン接種の奨励。発熱時の報告と受診。家族の発熱時の報告。

3) 面会…発生時の中止。通常において、居室での家族との面会は感染予防の上、15分以内。面会時間が15分以上の場合、面会者が3人以上の場合は、サロンにて。フロアーは厳禁。

(2) インフルエンザ

①現状…2月3日、職員が陽性

②予防接種…利用者（グループホーム等）11月5日。職員：11月12日。

(3) ノロウイルス（感染性胃腸炎）

①3月5日～、グループホームにて、入居者及び職員で嘔吐や下痢症状が発生。

(4) 会議、研修など

①事業所…感染対策委員会（年2回）、感染症研修（年2回）

②法人…感染症予防対策委員会（11月）、全体会議（秋）

5. 利用者に対する取り組み…「たより」参照

(1) 入居者の様子

①お出かけ… 原則、制限なし。ただし、感染防止に留意。できるだけ、密な場所は、避ける。

②お手伝い（お役立ち）〔自立支援〕…掃除、洗濯ものの干し・たたみ、食器洗い・拭き。

③おやつ企画、食事企画

(2) 重大事故 発生なし

(3) 取り組み状況と今後の取り組み

①K様（女性） 介護3

・ご夫婦お二人暮らし。利用当時は、尿失禁がひどく歩行困難。認知症もあり、起こさないと起きない。食事家事全般はご主人で、どうしても分からず、週2日仕事もされており、ケアマネジャーへ相談され、定期巡回利用となる。主に排泄介助・更衣・食事誘導・介護へのアドバイスをを行う。歩行困難ではあったが、ポータブルトイレを利用し、起き上がり、立ち座り等動作を繰り返すうちに、下肢筋力アップとなり見守りで移動可能になる。食事については、ご主人が本人の好むものを手作りするも食べるといっては召し上がられず、ご主人もイライラすることが多くみられる。食事誘導を定期巡回が行うことで、食事量がアップ。亡くなる2日前には、二人で吉野へ水汲みに行かれ、そ

	の翌日に職員へ「夫婦で一緒に吉野へ行けて良かった」と嬉しそうに話され、訪問退室 20 分後に反応がないと事業所へ連絡が入り、看護師が随時訪問するも、心肺停止となりご逝去。その後、ご主人にお会いしに行くと「苦しまずにいけて、定期巡回が来てくれて、あいつは大往生や」と言われた。 奥様を亡くされ、引きこもりがちであったが、サロン企画への参加を提案し。来月に初参加されることとなり、奥様が亡くなられてもあすならホーム畝傍と繋がる。 ②今後は気候も暖くなり、ご利用者の意欲向上のために、その人にあった「おでかけ企画」や利用者様同士の交流会など企画を提案する。 6. 防災関連 (1) 消防訓練…年 2 回、 (2) 自然災害…10 月 1 日（地震防災訓練）3 月 11 日（水災害避難訓練） (3) 防災感染症対策委員会…1 月 7. 情報（新聞記事から） (1) 在宅避難 携帯トイレの備えを (2) 頼れる身寄りがない高齢者の公的支援の模索 (3) 2022 年健康寿命 (4) 2024 年介護事業者の倒産
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 新設の看護小規模多機能型居宅看護サービス及び新サロンスペースは、2025 年 6 月事業開始予定。 (2) 春のあすなら学習会 日程：4 月 25 日（金）、5 月 17 日（土）、6 月 18 日（水）、6 月 30 日（月） 時間は夫々 10:30～12:00
評価・要望・意見等	1. 利用者・家族 ・100 歳近い母親が入院したため、歩けない状態になり、退院後の排泄介助が家族では大変となった。また、便が出ないことも多くなった。 ・定期巡回を利用するようになって、馴染みの職員が訪問してもらい、しかも排泄介助がスムーズなのでとても助かっている。 2. 地域代表・地域住民・行政 〔外部評価関連〕 (1) 項目番号 15 ・テレビ電話は、操作性が改善され、高齢者にとって便利になっており、安心を確保するツールである。 (2) 項目番号 30 ・移動店舗を通じて、生協（ならコープ）と関係していることは良いこと。 (3) 項目番号 32 ・「榎原地域包括ケアシステム連絡会」で榎原市の主に地域密着型サービスの事業所（10 ヲ所）が連携していくのは好ましい。 〔その他〕 ・介護相談について、どのような状態になったら、いつ、どこに相談したらいいのかわからない方が多いと思うので、あすならホーム畝傍のように何でも相談できるところがあれば安心である。

その他必要な事項	◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等 1. 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（2023 年度：半年に 1 回）、身体拘束適正化委員会（2023 年度：3 か月に 1 回開催。）を開催し、入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。また、虐待防止及び身体拘束適正に関する学習（2024 年度：年 2 回＜①6・7 月（個人情報保護含む）②2025 年 2 月＞）を実施。 2. 2016 年 7 月以降、緊急やむ得ない場合も含め、2025 年 3 月現在、入居者・利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。
-----------------	---

次回開催予定：2025 年 5 月 16 日（金）（場所：あすならホーム畝傍 新サロンスペース）

あすならホーム畝傍 介護・医療連携推進会議議事録

開催日時	2024年9月13日（金）10：00～11：30														
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：1名（家族） 2. 地域代表：2名（民生委員会長）、（まちかどネット畝傍 1名） 3. 市・包括職員：1名（榎原市長寿介護課） 4. 職員：2名														
利用者登録状況 （9月13日現在）	1. グループホーム：18名 2. 小規模多機能型居宅介護：28名 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：55名 4. 訪問看護：22名 5. ケアプランセンター：82名（要介護） ＜定期巡回の利用者の介護度＞ 1. 定期巡回の利用者数 <table><tr><td></td><td>要介護1</td><td>要介護2</td><td>要介護3</td><td>要介護4</td><td>要介護5</td><td>合計</td></tr><tr><td>9月</td><td>23</td><td>11</td><td>14</td><td>4</td><td>3</td><td>55</td></tr></table> ※平均介護度は 2.2 の状況 登録者：60名（入院5名）		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	9月	23	11	14	4	3	55
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計									
9月	23	11	14	4	3	55									
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について <u>サロン活動</u> （1）ランチ企画 月6回（0と5のつく日）実施。 ①目的…家での閉じこもり生活を開放し、社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善に寄与する。 ②運営 1）新型コロナウイルス感染防止に留意。2）自宅での閉塞感の解消と健康づくりのため、リハビリ体操と口腔体操に取り組む。 3）暮らしの知恵を学び、生活に役立てるため、毎月テーマ「熱中症予防」などを決め、学習や情報提供に取り組む。 ③現状…毎回、20名前後の地域の方が参加。 <u>つながり連絡員制度</u> ・安心を届けるため、サロン活動へのお誘い、安否確認（脱水・熱中症、自然災害） <u>学習会</u> （1）春と秋の「あすなら学習会」を春3回、秋3回実施。お役立ち情報の学習、あすならホーム畝傍の喜ばれた事例紹介、ならコープの商品紹介、意見交流。 秋の日程…10月15日（火）、10月28日（月）、11月11日（月）、11月30日（土） （2）福祉講演会（法人）…毎年、年2回開催。 （3）福祉学習会（法人）…年4回程度、テーマを設定し県内各地で開催。 （4）買い物支援…買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラックが週1回（土曜日）、「移動店舗」が巡回。 （5）ユニバーサル就労…精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援														



3. 橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み

- (1) 当会は、地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、橿原市民に貢献し、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指す。2021年12月17日発足。主な活動…事業者間の学習、交流。年4回程度。
- (2) 8月30日、「認知症の人の意思決定支援、ACP」（講師：加納麻子（社会医療法人平和会吉田病院 地域緩和ケアサポートきずな 緩和ケア専門医）の学習交流会を開催し、23名の参加があった。

4. 感染症予防：

(1) 新型コロナウイルス対策＜with コロナ＞

- ①現状：グループホームで8月末、職員及び入居者、計3名でコロナ陽性、10日間で制限解除。
- ②予防：①利用者…10月以降、ワクチン接種。②職員…本人、発熱時の報告と受診。家族の発熱時の報告。③面会…発生時の中止。通常において、居室での家族との面会は感染予防の上、15分以内。面会時間が15分以上の場合、面会者が3人以上の場合は、サロンにて。フロアーは厳禁。

(2) インフルエンザ

- ・毎年秋に、利用者及び職員を対象に予防接種。

(3) ノロウイルス

- ・処置備品の在庫確認と処置訓練

(4) 会議、研修など

- ①事業所…感染対策委員会（年2回）、感染症研修（年2回）
- ②法人…感染症予防対策委員会（11月）、全体会議（秋）

5. 利用者に対する取り組み…「たより」参照

(1) 入居者の様子

- ①お出かけ… 原則、制限なし。ただし、感染防止に留意。できるだけ、密な場所は、避ける。
- ②お手伝い（お役立ち）〔自立支援〕…掃除、洗濯もの干し・たたみ、食器洗い・拭き。
- ③おやつ企画、食事企画

(2) 重大事故

発生なし

(3) 取り組み状況と今後の取り組み

- ①Mさん（介護3）、夫婦で生活され、主介護者は奥様で、ご主人は体格に恵まれた方である。ある日、ご主人が夜間に転倒されて動けなくなり、奥様が4時間かけてベッドまで移動させた。次の日にも状態が変わらないことからあすならホーム畝傍に相談。当日から定期巡回のサービスをスタートすることになった。外傷などはなく、動けなくなった原因は不明。しかし、数日動けない日が続いたため定期巡回が毎日3回入りながら困りごとに対応しました。1週間ほどすると状態が安定されたため、サービスの見直しをした。入浴対応が不安なことから週に2回、ヘルパーと看護師による入浴介助を実施。それ以外にはまた調子が悪くなった時に随時対応をするという約束になった。
- ②一人暮らしの方、認知症をお持ちの方を中心に脱水巡回をした。脱水巡回とは、通常の訪問予定以外にも短時間の訪問を複数入れることで、水分補給の促しや室温の確認を行い、熱中症を未然に防ぐ取り組み。TV電話の活用や毎日3回の訪問を行うことで入院する方を減らすことが出来た。
- ③今後は気候も涼しくなり、おでかけ企画や利用者同士の交流会など企画を提案していきたい。また、利用者の意欲向上のために、その人にあったおでかけ企画などを実施していきたい。

	6. 防災関連 (1) 消防訓練…年 2 回、 (2) 自然災害…10 月 1 日（地震防災訓練）3 月 11 日（水災害避難訓練） (3) 防災感染症対策委員会…1 月
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 8 月中旬から、看護小規模多機能型居宅看護サービス及び新サロンスケースの建設 (2) 秋のあすなら学習会…10 月～11 月
評価・要望・意見等	1. 利用者・家族 ・ 90 歳台の父親が 5 月、緊急搬送され、その後、遠方の病院に転院。家族は在宅で面倒をみたい。その際、あすならホーム畝傍に相談し、在宅酸素処置が必要なので、定期巡回を利用し、看護と介護のサービスを受けることになった。1ヶ月前、痰が絡んだ際も看護師がすぐに対応してもらい、緊急搬送も近くの病院にスムーズに手配してもらい感謝している。また、退院の際、在宅で暮らしていけるように相談に乗ってほしい。 2. 地域代表・地域住民・行政 (1) 今後、高齢になるので、自分の生活をどうしていくのかを改めて考える必要があると感じた。ランチ企画やサロン活動に関わっていることが、励みとなっている。また、参加することで学ぶことができる。新しいサロンで新たな出会いを楽しみにしている。 (2) 今年の 6 月、妻の母が逝去し、自分の健康は自分で守る大切さを実感している。睡眠時の持病があるので、根気強く、継続する必要がある、ようやく、治療処置に慣れてきた。 (3) 今年は、気温の高い状況が継続しているので、熱中症に気を付けていただきたい。特に、高齢者は気づくのが遅れたりしがちなので、熱中症に掛からないための予防が大切となっている。また、近年、気候温暖化の影響もあり、台風が大型化しているので、情報を知り、適切で早めの対応が必要である。行政においても、今回の台風第 10 号の接近に伴い、被災地域が広範囲に及ぶとともに、緊急的な対応が必要になることが想定されるので、緊急的な対応として、介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）についての通知をおこなった。
その他必要な事項	◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等 1. 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（2023 年度：半年に 1 回）、身体拘束適正化委員会（2023 年度：3 か月に 1 回開催。）を開催し、入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。また、虐待防止及び身体拘束適正に関する学習（2024 年度：年 2 回＜①6・7 月（個人情報保護含む）②2025 年 2 月＞）を実施。 ・ 6 月及び 7 月に「虐待防止及び身体拘束適正に関する学習資料」に基づき、学習をした。 2. 2016 年 7 月以降、緊急やむ得ない場合も含め、2024 年 9 月現在、入居者・利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。

次回開催予定：2025 年 3 月 21 日（金）（場所：あすならホーム畝傍 サロンスペース）